

着々進む新孫別道工事

第一期工事終盤

岩見沢市の農産物流通幹線として脚光を浴びつゝ、工事に着手した新孫別道は、重粘土質、豪雨と云う悪条件にもかかわらず作業隊員の日頃の訓練、成果を発揮して、予定よりはるかに上回る好進捗度を示している。これは郷土に役立とうとする隊員の意識の表われと見られ、工事関係者は勿論、喜びの輪は日増しに大きく広がっている。

これまでにしは、は行なわれた上級部長等との工事視察において、も等しく好評を博しており、作業隊長（長溝輝文二尉）は、「作業の進捗はすでに85%に達しており、隊員の士気ますます旺盛です。これも偏見に市民各位のご協力のおかげであり、立派な道路を一日も早く完成して皆さんに喜んで頂きたい」と語っている。

からまつ

発行部 隊部
岩見沢駐
第1023号
別作
隊設大
第3中
別作

雨降りにゴミ拾い 公園の美化

先日は雨のため、作業中止となったが雨の晴れたとき、誰かうとなく者舎のある公園の清掃が実施された。



ブルを動かす手も、スコップを持つ手も、計算器を叩く手もビンヤ空

公園は私達の庭

みんなで、きれいに
庭を拾って廻り、我々がココにいる間は公園を汚さないで、と大変な意気込みであり、有意義な雨の一日であった。

宿舎紹介

作業隊員の起居する日、出会館は元孫別小学校の跡にある。此処は日の出小学校に統合されてからは「孫別公園」として残されている。

市内にある公園の中でも面積こそさほどなくとも樹種や野鳥の豊富さは屈指の所であり過去六十年の永きに亘り育くまれ愛されて来た動植物が今も尚生き生きと市民憲章にうたわれている如く息づいている。

その中で一日の疲れを癒し大自然の懐で眠り、野鳥の啼きすりに目を覚せば更新しい初秋の冷気が肌をなでる。公害の渦中に身を置いて悩む人々に比べればしみじみと生きる喜びに湧く孫別作業隊の日々である。

自衛隊サン オネガイ！ 車の SOS!!

近ごろドライブに來て故障のため救援を求められることが多くなった。それもどう云う訳か

真夜中ばかり。困る時はお互いさまと気軽にお手伝いはするものの、三日も続けば、やがてグロッキー
楽しい筈のドライブ、お出掛け前の車の整備臭候をしっかりと、オネガイシマ〜ス。



お知らせ

作業隊からの



自衛隊について、入隊の方法、毎日の訓練や生活、待遇その他お知らせになりたいたいことがありましたらいつでも作業隊又は岩見沢駐地②番内線四番に連絡して下さい。尚、直接孫別道工事現場の見学についても歓迎いたします。
お気軽にヒョイとお立ち寄り下さい。